

■改良費関係予算前年度比較

(単位:千円) 税込

項目	令和4年度予算案	令和3年度予算	増減額	備考
浄水場改良費	55,112	35,649	19,463	委託料及び負担金の増など
配水設備改良費等	955,404	1,059,005	△103,601	防護工事の減など(国道49号電線地中化工事)

※予算ポイント
 浄水場改良費 ⇒ 老朽施設の更新 大戸配水区の再編 原水取水先の長寿命化対策
 配水設備改良費 ⇒ 老朽管路の更新 老朽設備の更新 デジタル技術の活用

(単位:千円)税込

1. 浄水場改良費 内訳

(1) 委託料

① 大戸配水区水道施設改修調査業務委託【大戸配水区の再編】

- ・大戸配水区内の水道施設の詳細調査及び検討 5,500
- 対象:大戸浄水場、大戸配水池、面川受水池、下雨屋・上小塩ポンプ場
- 委託実施期間:令和4年・令和5年継続



面川受水池

(2) 工事請負費

⇒ 【老朽施設の更新】

① 東山浄水場ろ過池改良工事 22,000

- ・ろ過池の平底弁及び流出渠の改良工事

② 六軒浄水場ろ過池流入管改良工事 2,200

- ・部分的な停止を可能とするよう新規仕切弁設置



東山浄水場ろ過池平底弁

(3) 負担金 ⇒ 【原水取水先の長寿命化対策】

① 東山ダム更新事業負担金 : 97,300→市負担分 12,552

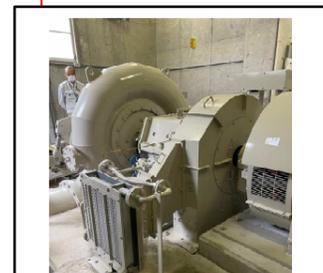
- ・テレメータ・放流警報設備詳細設計
- ・取水ゲート設備詳細設計
- ・法面詳細設計
- ・電源設備詳細設計

② 戸ノ口堰長寿命化事業負担金 : 47,000→市負担分 4,192

- ・猪取頭首工のバタフライ弁更新工事への負担金



猪取頭首工バタフライ弁



東山ダム発電機(H30~R2)

(単位:千円)税込

2. 配水設備改良費 内訳

(1) 委託料【老朽管路の更新】①

① 管路設計業務委託 34,168

- ・老朽管更新事業関係・大坪中橋関係等

(2) 工事請負費 (事業件数:31件) 855,631

【老朽管路の更新】①~② 【老朽設備の更新】③~④

① 配水管路布設替工事 699,120

- ・件数:布設替 25/L=2,892m (R3件数:26)
- 老朽管更新事業、重要給水施設配水管整備事業等

② 消火栓設置 4,543

- ・件数:2 (R3件数:3)

③ 大坪中橋水管橋仮設管設置工事 20,548

- ・大坪中橋歩道橋整備関係

④ 配水管理設備更新工事 54,780

- ・配水池、ポンプ場等 16箇所の計装設備更新
- 監視:流量・水位・ポンプ圧力等 (R3:設計委託箇所)

⑤ 積りポンプ場改良工事 10,640

- ・東山地区の積りポンプ場の改良工事(R3:設計委託箇所)

⑥ 水道施設維持管理用設備設置工事 66,000

- ・通信設備の整備 ⇒ 【デジタル技術の活用】

(3) その他

① 施工情報システム購入費 ⇒ 【デジタル技術の活用】 1,122

- ・システム 6 工事分、チェッカー9機

3. 給配水管路図作成費 ⇒ 【デジタル技術の活用】

① 水道管路台帳システム構築業務委託 62,180

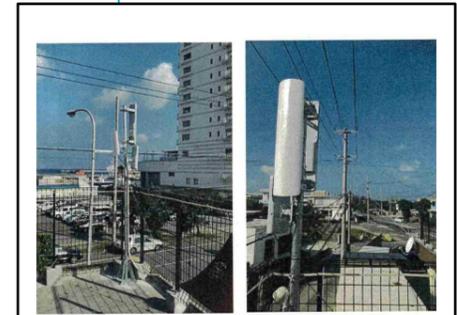
- ・マッピングシステムの庁内システム構築



老朽管更新事業
飯盛三丁目布設替工事



東山積りポンプ場

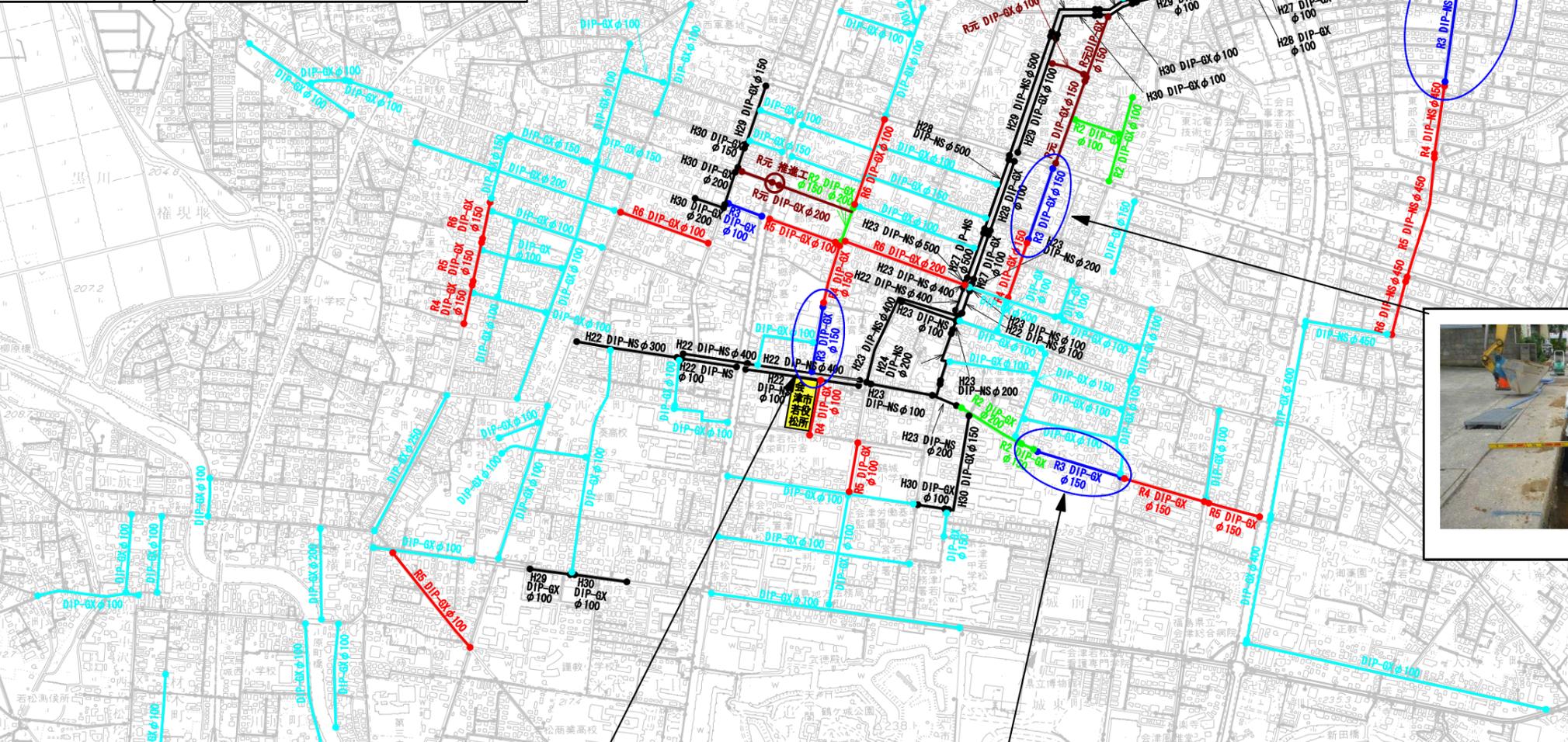
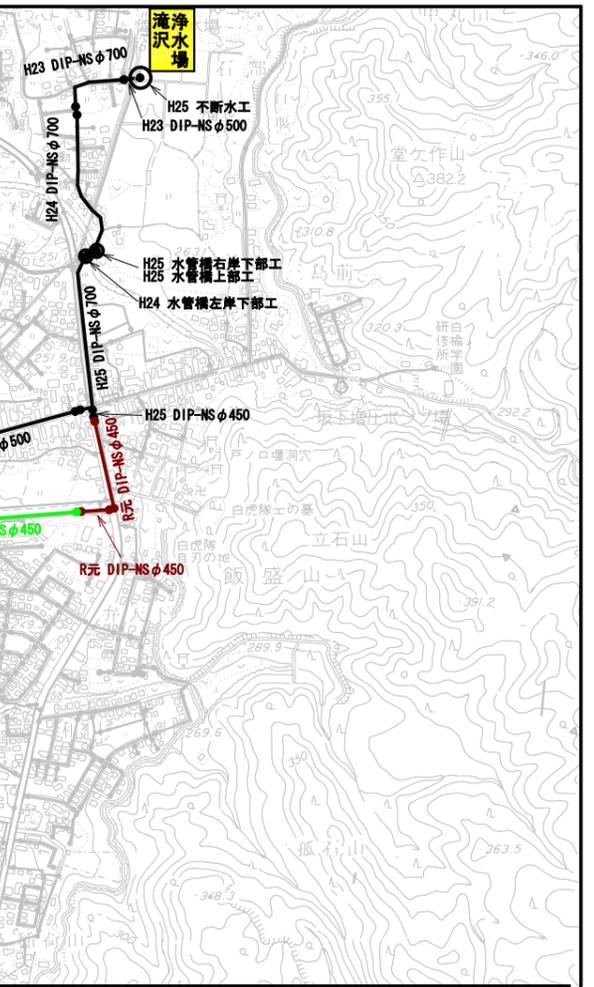


通信設備整備

図1

老朽管更新事業 実績および今後の計画

事業内容	
対象管路	<ul style="list-style-type: none"> 昭和4年(創設期)の铸铁管 昭和36年(第三次拡張期)の铸铁管 布設後30年以上経過したφ350mm以上の一般継手のダクタイル铸铁管
事業期間	平成21年度～令和8年度
計画延長	L=29,630.0m
実施延長(R3年度末)	L=11,630.5m
進捗率(R3年度末)	39.25%



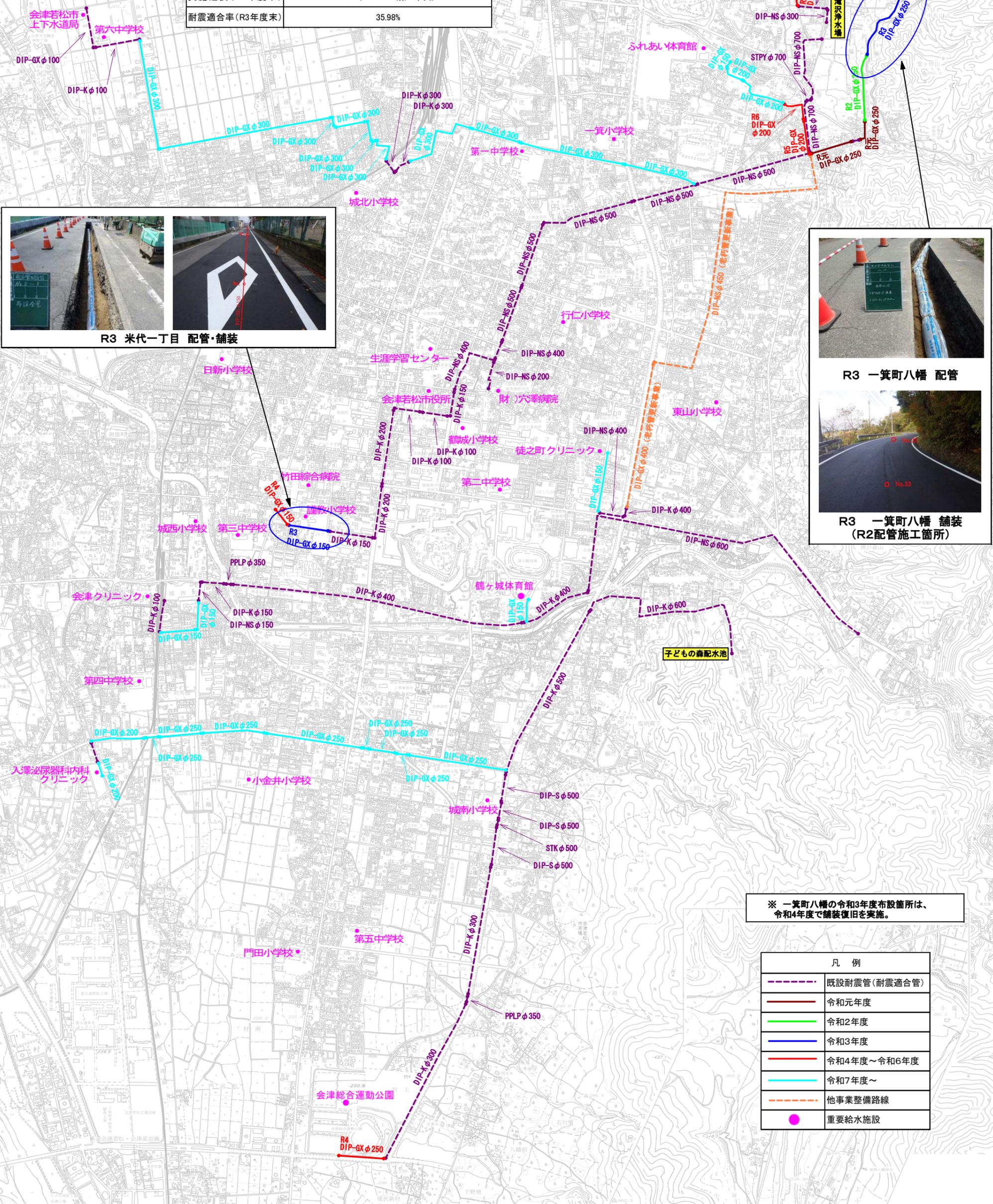
※ 飯盛三丁目の令和3年度布設箇所は、令和4年度で舗装本復旧を実施。



凡例	
	～平成30年度
	令和元年度
	令和2年度
	令和3年度
	令和4年度～令和6年度
	令和7年度～

重要給水施設配水管整備事業（若松地区） 実績および今後の計画

事業内容	
対象管路	・重要給水施設(49施設)に給水する配水管で、耐震管および耐震適合管でない管路。(他事業整備管路は除く) ・第1年次は49施設のうち15施設へ供給する管路を対象。
事業期間	平成30年度～令和20年度(第1年次)
計画延長	L=12,210.1m(第1年次)
実施延長(R3年度末)	L=1,512.0m(第1年次)
耐震適合率(R3年度末)	35.98%



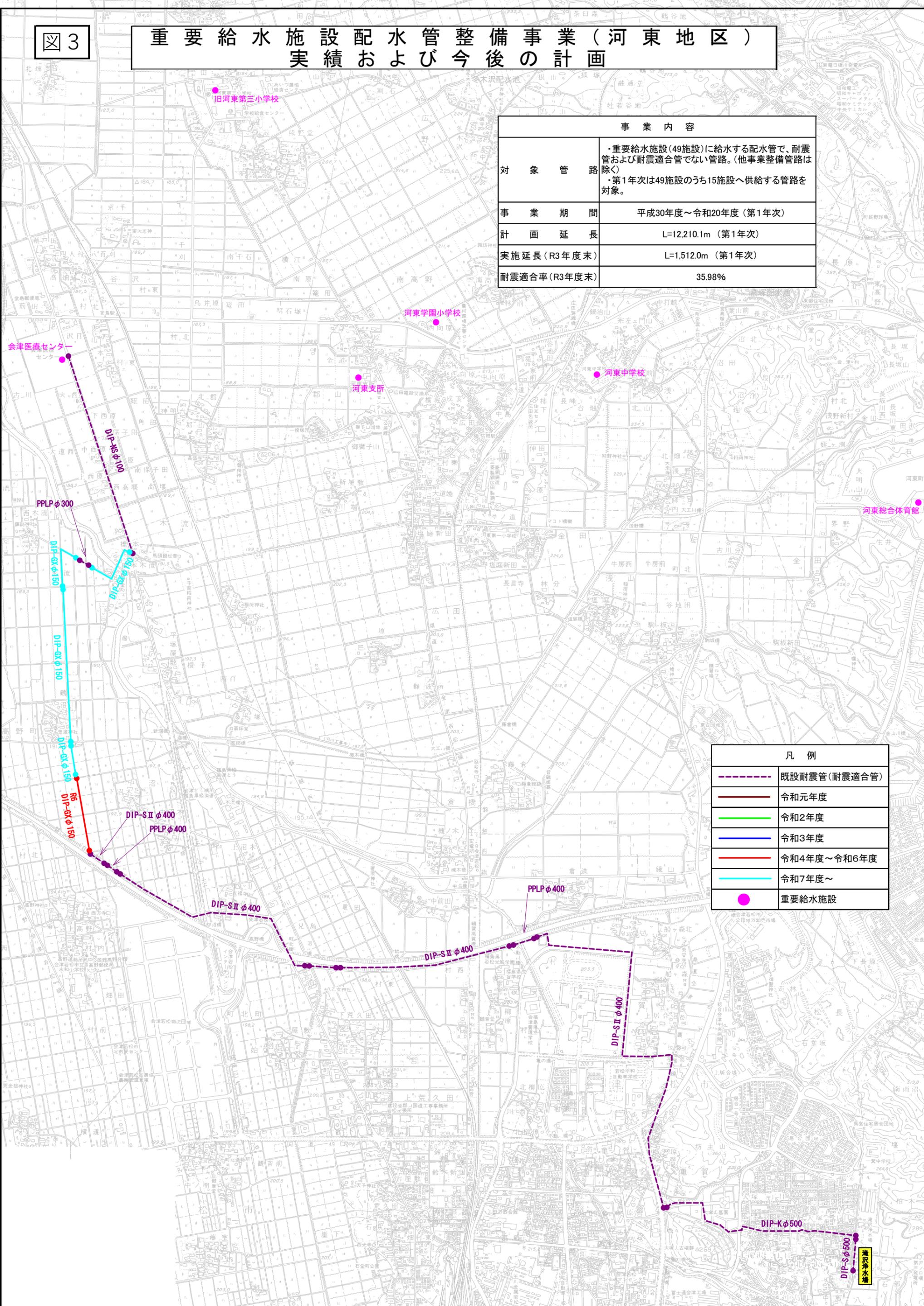
※ 一箕町八幡の令和3年度布設箇所は、令和4年度で舗装復旧を実施。

凡例	
	既設耐震管(耐震適合管)
	令和元年度
	令和2年度
	令和3年度
	令和4年度～令和6年度
	令和7年度～
	他事業整備路線
	重要給水施設

図3

重要給水施設配水管整備事業（河東地区） 実績および今後の計画

事業内容	
対象管路	・重要給水施設(49施設)に給水する配水管で、耐震管および耐震適合管でない管路。(他事業整備管路は除く) ・第1年次は49施設のうち15施設へ供給する管路を対象。
事業期間	平成30年度～令和20年度(第1年次)
計画延長	L=12,210.1m(第1年次)
実施延長(R3年度末)	L=1,512.0m(第1年次)
耐震適合率(R3年度末)	35.98%



凡例	
	既設耐震管(耐震適合管)
	令和元年度
	令和2年度
	令和3年度
	令和4年度～令和6年度
	令和7年度～
	重要給水施設

この地図は、建設省国土地理院長の助言をうけて調整したものである。

参考資料 1

令和4年7月6日
上水道施設課

会津若松市重要給水施設一覧

番号	施設名称	施設機能
1	会津若松市役所本庁舎	防災拠点施設
②	上下水道局庁舎	防災拠点施設
3	生涯学習センター	防災拠点施設
4	北会津支所	防災拠点施設
5	河東支所	防災拠点施設
6	湯川村役場	防災拠点施設
⑦	あいづ総合体育館	避難所
⑧	ふれあい体育館	避難所
⑨	鶴ヶ城体育館	避難所
10	河東総合体育館	避難所
⑪	福島県立医科大学会津医療センター	救急告示医療機関・人工透析実施医療機関
⑫	会津中央病院	救急告示医療機関・人工透析実施医療機関
⑬	竹田総合病院	救急告示医療機関・人工透析実施医療機関
14	穴澤病院	救急協力病院
⑮	徒之町クリニック	人工透析実施医療機関
⑯	会津クリニック	人工透析実施医療機関
⑰	入澤泌尿器科内科クリニック	人工透析実施医療機関
18	各小学校	避難所
19	各中学校	避難所
合計 49施設		

※○印は優先的に耐震化を図る施設。

参考資料 2

令和 4 年 7 月 6 日
上水道施設課

I. 管路の整備状況について（令和 4 年 3 月末現在）

(1) 管路施工延長調書

	管路布設延長 (m)	管路布設替延長 (m)	合計 (m)	管路総延長 (m)	管路更新率 (%)
令和元年度	1,529.60	3,024.90	4,554.50	813,403.74	0.372
令和2年度	461.90	3,156.30	3,618.20	814,501.07	0.388
令和3年度	199.50	3,836.40	4,035.90	816,893.72	0.470

※管路とは導水管、送水管、配水管を指す。

(2) 管路耐震化率調書

	耐震化率・延長 (全体)	耐震適合率・延長 (全体)	耐震化率・延長 (基幹)	耐震適合率・延長 (基幹)
令和元年度	10.41	20.79	34.38	39.17
	84,665.94	169,130.18	17,428.13	19,853.33
令和2年度	10.91	21.44	39.29	47.43
	88,901.51	174,614.57	17,565.80	21,202.12
令和3年度	11.40	21.89	39.84	47.90
	93,091.91	178,804.97	17,974.30	21,610.62

※単位：上段%、下段m

(3) 管路経年化率及び法定耐用年数を超えた管路延長・管種別構成率

管種/年度	R1		R2		R3	
	1979 年以前	構成率 (%)	1980 年以前	構成率 (%)	1981 年以前	構成率 (%)
ポリ管	1,113.00	2.51%	1,114.00	2.35%	1,114.01	2.07%
硬質塩ビ管	5,428.00	12.24%	5,338.00	11.25%	5,474.90	10.16%
石綿セメント	2,907.00	6.56%	2,926.00	6.16%	2,479.40	4.60%
鋼管	101.00	0.23%	101.00	0.21%	302.08	0.56%
ダクタイト	14,285.00	32.22%	19,534.00	41.16%	26,548.16	49.24%
鋳鉄管	20,504.00	46.24%	18,451.00	38.87%	17,993.70	33.38%
合計	44,338.00	100.00%	47,464.00	100.00%	53,912.25	100.00%
経年化率 (%)	5.45		5.83		6.60	

(4) 重要給水施設配水管耐震化率調書

	重要給水施設配水管 総延長 (m)	耐震化率 延長 (全体)	耐震適合率 延長 (全体)	耐震化率 延長 (基幹)	耐震適合率 延長 (基幹)
令和元年度	102,452.50	21.52	34.84	60.85	83.78
		22,052.40	35,699.10	18,384.10	25,314.20
令和2年度		21.88	35.20	60.85	83.78
		22,414.40	36,061.10	18,384.10	25,314.20
令和3年度		22.66	35.98	60.85	83.78
		23,217.40	36,864.10	18,384.10	25,314.20

※単位：上段%、下段m

※基幹管路について、未供用管路（φ400～450）は計上しない。

(5) 老朽管更新事業調書

	計画延長 (m)	実施延長 (m)	実施累計延長 (m)	残延長 (m)	進捗 (%)
令和元年度	29,630	1,124.4	9,637.4	19,992.6	32.53%
令和2年度		1,062.8	10,700.2	18,929.8	36.11%
令和3年度		930.3	11,630.5	17,999.5	39.25%

(参考) 県内4市における管路更新率及び管路経年化率

事業体名	会津若松市	福島市	郡山市	いわき市
年度	R3	R3	R3	R3
導送配水管路総延長 (m)	816,894	1,631,729	1,815,904	2,279,714
総延長のうち法定耐用年数を超過した 管路延長① (m)	53,912	310,757	608,042	619,893
総延長のうち当該年度に更新した 管路延長② (m)	3,836	6,548	5,814	27,684
管路更新率 (%)	0.47%	0.40%	0.32%	1.21%
管路経年化率 (%)	6.60%	19.04%	33.48%	27.19%

注1) 管路経年化率とは「法定耐用年数を超過した管路延長① (m) / 導送配水管路総延長 (m)」の算式による。

注2) 管路更新率とは「当該年度に更新した管路延長② (m) / 導送配水管路総延長 (m)」の算式による。